

## ミニ懇談会報告書

申込者：健康サロン

議 題：「地域の人々が生き生き生活する為には」をテーマに市のまちづくりの取組みについて他意見交換

日 時：平成30年11月9日（金） 午前11時10時～午後12時15分

場 所：七次台東集会場

出席者：住民28名（男性6名・女性22名）

市側：市長、秘書課長、秘書課職員2名

司会) ただ今から、懇談会を始めさせていただきます。

職員の紹介をさせて、いただきます。

(職員自己紹介)

本日は、懇談会と言う事で、皆様から、御意見等いろいろいただくと思うのですが、この場で直に解決できないこともあると思いますので、いただいた意見等は今後の市政の参考にさせていただきます。

これから、市長にあいさつをいただき、「市のまちづくりについて」の、お話をさせていただきます。市長、お願いします。

市長) 皆さん、こんにちは、市長の伊澤史夫です。本日は、「健康サロン」とのミニ懇談会を開催させていただきました、ありがとうございます。

今日は、限られた時間の中で皆さんに、どの様な話をしようかと考えてまいりましたところ、市長就任してから小学校6年生、中学校3年生を対象に社会の特別授業をしております。

この目的は、二つありまして、一つは子供達が学校で政治、経済を学ぶのですけれどもその政治、経済をこの白井市に置き換えた場合はどうなるのか、もう一つは子供達に白井をよく知ってもらい、白井を好きになってもらい、ずっと白井に住んでもらいたい、あるいは、この後に話しますが子供が成人すると白井から出て行って東京や他で暮らしている子供が多いと思うのですけれども、例えば、結婚や出産を期に戻ってくる方もいます。また、戻ってきてもらえる政策もしています。

その様な子供たちに白井で活躍してもらいたい。そんな願いがあります。

皆さんから、いろいろな質問があるかとは思いますが、皆さんの知らない白井がありますので、少し紹介させていただきます。

まず、白井では、2万7千年前から人が住んでいました。ニュータウン開発の時に役所のそばで石器が発見されています。ですから、昔から人が住んでいた白井は住みやすい所であったということです。

また、よく白井はいつから「しろい」と呼ばれるようになったのかと聞かれます。

「しろい」という地名ができたのは、中世の室町時代からと言われております。名前の語源は、「きれいな水」または「きれいな井戸」から付けられたのではな

いかと言われていました。

そして、江戸時代には、幕府に近かったことから軍用馬の育成地として御用牧となっていました。馬は放し飼いだっただけで逃げないように野間除土手を作り、現在も富士地区には野間除土手があります。

この牧は、大変、広く鎌ヶ谷、松戸から八街までありました。そして、「初富」、「二和」、「三咲」、「豊四季」、「五香」、「六実」、「七栄」、「八街」、皆さんも、聞いたことがあると思いますが、明治時代に牧を開墾した順になっています。白井にも「十余一」がありますが、11番目ということになります。

また、「木戸」と呼ばれる地名があると思います。白井には「白井木戸」、「中木戸」があります。これは、野間除土手を行き来するために作った場所です。

白井は、明治になった時に19の村があり、そこから合併を繰り返し現在の形になりました。

昭和39年に人口約8千人で町になりました。白井は農村地帯で基幹産業も農業でした。

その後、昭和42年に第一工業団地が造成され農業と工業の町となります。現在は約300社7千人の人が働いています。

昭和54年に千葉ニュータウンの入居が始まります。その時の人口が約1万4千人その時期は年5千人ほど人口が増えていきました。昭和57年、わずか3年で3万人を超えました。

平成9年には、人口5万人を超え平成13年に市になりました。平成13年、西暦では2001年、21世紀の始まりの年、大きな出来事がありました。白井市で日本発のBSE、狂牛病が見つかりました。そして、次の日の9月11日にアメリカで同時多発テロが起きました。そんな年でした。

そして、現在6万3,700人あまりの市になりました。そんな白井の歴史があります。

現在の白井市ですけども、東日本大震災から7年半がたちますけども、震災の時はちょうど確定申告の時期で、市役所6階の会場でおこなっていました。午後2時46分に震度5強の地震がおきました。

その時の市役所は、耐震基準を満たしていませんでした。申告会場では、天井から空調のダクトが落下しまして、たまたま、下に人がいなくて、けが人は出なかったのですが、職員も含めてみんなで駐車場に避難しました。それから、すぐに対策本部を設置したのですが、余震が多くて、市役所内に対策本部を設置することが出来なくて隣のウェルプラットに対策本部を作るのですが、情報を集めるためには市役所でなくてはいけなくて戻ることになるという苦い経験をしました。ですので、早く市役所を耐震化させなければいけないところでしたが、市内の小中学校の耐震化を優先することとしました。

その後、市役所庁舎を減築、新築し5月にオープンしました。私としては、白井に警察署がないことから県へ相談して印西警察署の分庁舎ができることになったことは大変よかったなと思います。免許の更新、相談等ができますので利用して頂きたいです。

ここで、お願いがあるのですが、最近、白井でも振り込めサギがはやっています。一昨年は、21件、6千9百万円の被害。白井市です、昨年は減りまして10件5百23万円、今年は、また増えてしまい昨日までで6件で6百67万円の被害がありました。

ですので、不振な電話でのお金の話は、すぐに切ってください。話を聞いてしまうとペースにはまってしまいますので、一度、電話を切って子供に確認してください。この様な卑劣なサギは許すことができませんので気をつけてください。不振に思ったら警察、市役所などに確認してください。

また、市役所には市民活動の場所としてのサポートセンターがありますので活用してください。

ここで、白井市の人口について、話します。資料の8ページを見てください。人口はこの70年間で右肩上がりに増えています。しかし、折れ線の数字に注目してください。この数字は1世帯あたりの人数です。昭和30年には、1世帯6人いたということです。では、現在はといたしますと2.5人になっています。小学校へ授業に行った際に子供達に兄弟はいますかと確認するのですが、結構、多いですね。という事はなぜ、世帯人数が増えないのかというと、子供達が成人して実家から離れてしまい、高齢の夫婦の世帯、その後、連れ合いが亡くなり独居高齢者になってしまう、こういう理由が解ってきました。白井市はこの傾向にあります。

ですので、一人暮らしでは、孤立しがちなので、この様なサロンで顔をあわせて話をしたり、情報交換をしたりすることは健康づくりにもなるし、とても有効であると思います。

なにより、犯罪防止になります。地域の繋がりが強いと犯罪は起きづらいです。

これは、市からの情報ですが、12ページをご覧ください。「親元同居近居支援制度」です。子供達が親元の白井市に帰ってきて住みますよという時に、条件をみたすことができれば支援金を受けることができます。実績は、平成28年度13件、平成29年度32件、今年も予算が無くなるぐらいの申込があります。

実際の利用者に話を聞いたところ、子供が保育園で突然、熱を出した時にすぐに迎えに行くことが出来なくて、おじいちゃんやおばあちゃんに行ってもらえて、助かったとの話を聞きました。

人口の維持、増加にもつながりますので、良かったら活用してください。

最後になりますが、「住んでみたい」・「住んで良かった」・「住み続けたい」まちを皆さんと作って行きたいと思っています。その為には、「対話」、「市民参加・協働」が大切であります。また「自助」、「共助」、「公助」が必要で、私はここに「近所」を付け加えて説明します。ご近所同士で助け合うことが災害時とかでは特に必要だと思います。

まだまだ、話したいことがあります、もっと詳しく知りたければ市役所へ連絡してください。ありがとうございました。

司会) ありがとうございました。それでは、質問、意見等を受けたいと思いますので

挙手のうえ発言をお願いします。

住民A) 今日の新聞で京成電鉄が利益を出しているとの記事があったが、白井市はとも環境がよくて住みやすいところだと思います。人口減少が問題であり交通の利便性が良くなれば人も増えると思います。その為には北総線の値下げです。政治的にも難しいと思いますがそこを是非、進めてほしいです。

住民B) 循環バスのルートはどの様にして決めているのですか。2, 3年前にはここから直通で新鎌ヶ谷駅まで行けたのですが、ルート変更後には、西白井駅で乗り換えしないと行けなくなったことが不便に感じます。その当時は、乗車している人もたくさんいたと思います。なぜ、直通がなくなってしまったのですか。

また、高齢者向けに、タクシー券を配布する予定はありませんか。高齢者の人数も多くて予算も大変だと思いますが、タクシー会社もお客が増えて喜ぶのではないかと思います。

住民C) 事前に循環バスへの要望ということで、地区の住民から約50枚、意見書をもっていますので担当者へ渡してほしいと思います。また、意見、要望に対する回答を書面で希望します。

司会) 要望書を受け取る。

住民D) 最近の大雨で道路が冠水する場所があるので対応してほしい。また、歩道の雑草について自転車や電動シニアカーでの通行に支障があるので対応してほしいです。

市長) そうでしたら、3つの意見、要望がありましたので回答させていただきます。

1つ目、北総線の運賃問題です。これは、どこでも言われます。私も市長になって全力で対応しています。まず、なぜ北総線運賃が高いかということです。それは、この千葉ニュータウンが当初34万人の計画で造成が始まりました。しかし、その後用地の買収がうまくいかず計画人口が14万人まで縮小されました。今ニュータウンの人口は9万人です。ですので、34万人の計画で鉄道が整備されたのですが利用者数の少なさから費用の回収ができずに割高となっている理由があります。

そして、京成と北総は別の会社でありますので、なかなかうまくいっていないところです。

最近の北総鉄道は、黒字で経営をしています。3年後ぐらいに繰越損失が無くなると思いますので、負債が無くなれば、値下げ交渉のチャンスだと思っています。

しかし、構造的に値下げできないこともありますので御理解いただければと思います。

2つ目、循環バスの時刻・ルートについてです。最終的には、私が市長として決めたのですが、そこには、各公共交通の方、学者、市民等で協議会を作って議論してルート、時刻を決めています。

循環バスは、税金で動かしております。また、その目的は公共交通機関がない不便な場所に走らせましょうということです。もう一つの目的は、通学です。平塚分校がありましたが無校になり、その子供たちが第二小学校へ通学するための足を確保する目的があります。

また、鎌ヶ谷総合病院ができた時に要望があがり、この七次台地区を通り市役所とか駅、拠点を結ぶ目的で運行することになりました。

ここで最近、市役所の側に病院が二つできました。また、民間のバスも新鎌ヶ谷へ運行していますので民間業者と競合するということはありません。

循環バスの料金は150円ですが、運行コストは乗客一人当たり300円ぐらいかかります。その差をバスに乗らない人たちが税金という形で負担していることとなります。利便性は解りますが、あくまでも市内を循環するということで行いたいと考えています。また、直通がなくなり皆様には不便になったと言われますが、西白井駅で乗り換えしていただき電車、バスを使っていればと思います。

本来の目的、交通空白地帯の子供たちの通学、また市役所、駅、病院等の拠点を結ぶことであるので御理解をお願いします。

住民C) 市長さん、いいですか。どうせ税金を使うのであれば、みんなが使いやすい方がよいと思うのですが、この間、民間バスを使って駅で降りたら、1分もしないうちに循環バスが来たのですよ、そんな組み合わせはおかしいと思うのですが。

市長) それは、時間の組み合わせですよね。その件は公共交通会議の中で審議していくよう伝えます。すべての希望にそうことはできないと思いますが時刻を改正するときに考えていきます。また、民間業者も会議に入りますので、乗り換え時刻についても会議で考えていきます。

市長) 3つ目ですが、不便な場所はどの辺ですか。

住民D) 16号線から西白井駅へ向かう道路。清水口小の付近、また長楽寺の周辺で大雨が降ると冠水して歩くことができません。あと、市役所の側のD2付近の歩道の雑草がすごくて歩けません。

市長) 場所は解りました。市役所でも台風や大雨のあとは、道路課で見回りをして対応しています。だいたい、側溝に落ち葉がたまり水の流れが悪くなっています。ちょっと落ち葉を除けば流れますので、皆さんに手伝っていただくと助かります。

それと、16号線や西白井停車場線は、国や県が管理することになりますのでこちらへ連絡して対応するように伝えます。

住民E) 関連でお願いします。風間街道の京葉ガスの太陽光発電をしている富塚から白井幼稚園へ向かう所で道路冠水があり息子が運転していたのですがそのまま突っ込んでしまいナンバーが曲がってしまったことがありました。道路改良ができなければ、注意の看板等の設置をお願いしたいです。

住民F) タクシー券の考えはありませんか。この前、西白井駅から帰る時にバスが来るのに40分ぐらい待つのでタクシーを使ったらその運転手さんが、お客がぜんぜんいないとぼやいていました。タクシー券があれば需要が増えてタクシー業者も喜ぶと思います。また、高齢者になると運転免許を返してしまいますので、月に1回、2回とかでよいので検討をお願いします。

市長) 市では、障がい者を対象にタクシー券を配布しています。おっしゃるように、これから高齢化になるにつれ免許を返納する方が増えると思います。市ではまだおこなっていませんが、他市では、デマンド交通というものがあります。循環バスではなくて例えばタクシー会社等に委託して目的地まで連れて行ってもらうものです。会議の中でもよくデマンドの意見がでますが、費用対効果が高いので今は難しいかと思います。しかし、今後の検討課題としていきます。

市民C) 私から2つほど、まず、七次台地区社協の拠点についてです。今、清水口小内の場所を間借りして使っています。思うように自分たちの活動ができていません。大変、不便に感じています。七次台小の学童のプレハブは子供達が多くて無理ですし、地区の集会場の利用もなかなか良い返事がもらえません。

もう一つは、毎月のこのサロンに健康相談が出来る保健師さんをお願いしたい。病院までいかなくても良いような健康相談をおこなってほしいです。

市長) はい、ありがとうございます。七次台地区社協の拠点について調べましたが地区の集会場は使えないかとか。学校は現在、生徒数が多く当分難しいです。また、例えば地域の空家の家主さんとか協力してくれて、無料で提供してくれないかとか、でもなかなかこれも難しいと思います。ですので、市役所も公共施設を中心に考えていきたいと思います。

次にサロンへということで、とても良い提案であると思いますけども市内にこのようなサロンが44団体もありまして、保健師も声がかかれば何うこととしていきますので全てには行けていないのが現状です。ですから、うまく「なるほど行政講座」を利用していただきたいと思います。今のお話は市役所へ持ち帰り、担当へ伝えたいと思います。

本日は、いろいろなお話、ありがとうございました。

司会) そうでしたら、時間もありますので、本日いただいた御意見等は、今後の市政に反映させていきたいと思えます。また、循環バスの要望書に対する回答については、後日、書面にて回答させていただきます。

以上をもちまして、懇談会を終了させていただきます。